

## 学べる症状シリーズ Vol. 5

# 「蜂窩織炎」

「蜂窩織炎」という病名をご存知でない方はたくさんいます  
ご存じでも鍼治療の際に感染させる可能性がある病気と認識している方も多いようです  
「蜂窩織炎」はどのような病気なのでしょうか。病気の原因と特徴、注意などをご紹介します

「蜂窩織炎」は主として黄色ブドウ球菌やレンサ球菌などによる化膿性炎症で、感染から発症まで通常は数日間を要します。

患部は広い範囲がぼんやり赤く硬くなって腫れて、熱感とさまざまな程度の痛みが感じられ、顔や四肢に最もよくできます。熱が出て、寒気・頭痛・関節痛を伴うこともあり、時間がたつとぶよぶよして、「膿」が見える場合もあります。高熱が出て足が象のように腫れあがることもしばしば見られます。いずれの菌も普段は事を及ぼすことはほとんどないので、皮膚に外傷や虫刺され・足爪白癬等が生じると、そこから体の防御機構を破って侵入して感染症を起こすとされています。また皮膚に異常がなくとも毛穴や汗管から感染することもあります。

黄色ブドウ球菌などは人体の皮膚表面、特に鼻腔内に存在し、諸説ありますが少なくとも30%以上のヒトが保有していると言われていたため、誰もが感染する可能性をもっている病気といえます。



利用者から「昨日受けた施術で高熱が出た。足（手）の関節も痛く、腫れている」とクレームがあった時、蜂窩織炎についての知識がある人ではない人では、大きくその対応が分かれてしまうことでしょう。少しでも蜂窩織炎の可能性が考えられるならば、「まず、皮膚科または内科に行って診てもらってください」と冷静に対処できます。

本会への相談でも鍼治療以外の施術によって蜂窩織炎への感染を疑われるケースが数例報告されています。

- 施術（ほくし）を受けた利用者から1週間後に足が痛いと言われた
- オイルマッサージを受けた利用者から翌日に足が腫れたと言われた

多くのケースでは医師から利用者への説明により施術とは無関係であることを理解いただけましたが、本会が対応した中には400万円を請求され裁判となったケースもあります。

裁判では当然ながら施術者には責任がないことが明らかになりました。約100万円の弁護士費用は本会から支給されましたが、自身の無実を証明するために費やした2年間の月日に対して利用者に損害賠償を求めることはできませんので、普段から十分に注意が必要です。



これまでの相談傾向をみると、既に感染している状態で施術を受け、その後発症したため、施術との因果関係を疑われているようです。皮膚の外傷から感染しますので、オイルを使用する施術は要注意です。

未然に防ぐ方法として次のものが挙げられます。

- ☆利用者の既往症を正確に把握しておく
- ☆皮膚に発赤や傷がある場合はその場で利用者に認識してもらう
- ☆皮膚に発赤や傷がある場合は患部に絶対に触れない

### ONE POINT

施術事故としては異例ですが知っておいて損はありません。これを機に是非ご認識ください  
JHAでは会員からの相談に対し経験に基づいた対処法をご案内させていただいております

JHA NEWS

・施術トラブル/クレーム 対応無料電話相談・JHANEWSの発行・会員保障制度など

国家資格者  
会員種別  
正会員A 準会員

すべての手技療法家、施術家に  
安心・安全を提供します

入会金無料

民間資格者  
会員種別  
正会員B

【ご不明な点・詳細につきましては、お気軽にお問合せ下さい】



# 一般社団法人 日本治療協会

URL: <http://www.jha-shugi.jp>

© JHANEWSのバックナンバーはホームページでご覧いただけます ©

TEL: 03 (5289) 8171

FAX: 03 (5289) 8173

受付: 10:00 ~ 18:00 (平日)

受付: 24時間年中無休

郵送先 〒101-8691 郵便事業株式会社 神田支店 私書箱46号

E-mail: [info@jha-shugi.jp](mailto:info@jha-shugi.jp)